

バス停タイムス

2016年3月14日

No.37

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

同じ職場で働いてる者の 給料に格差があっていいのか？

2016春闘も山場を迎えています。JR東海労は16日を回答指定日にし、これまで5回の団体交渉を積み重ねてきました。

今春闘の最大の課題は、年代間・職種間の賃金格差をいかに是正するかです。

とりわけJR東海は社員間に大きな格差が生じているのに加え、協力会社間の格差も大きなものとなっています。今春闘で、格差是正を求めて共に声をあげようではありませんか。

関連会社も一心同体？それなら給料も同じにせよ！

JR東海会社は、過去最高の利益を上げています。しかし、その多くはリニア建設に充てられています。さらに、効率化、労働強化、福祉切り下げの嵐がJR・関連会社を問わず吹き荒れています。

JR東海会社が順調に利益を上げているのは、JRと関連会社の社員が昼夜を問わず、安全で清潔で快適な新幹線車両を提供し続けているから成しえていることです。JR東海会社経営陣、関連会社経営陣は、その苦勞に報いるために賃金を引き上げるべきです。

JR東海会社は関連会社と一心同体と言っています。そうであるなら言葉だけでなく、そこで働く社員の賃上げ、労働条件もJRと同じにするべきです。昨年JRは賃上げが実施されましたが、SMT・SEKでは賃上げは実施されたのでしょうか？ボーナスはJRなみに支給されたのでしょうか？自分たちが整備した新幹線に乗るのに割引証はあるのでしょうか？

私たちは、SMT・SEKのみなさんの労働条件向上のために、この間の業務委員会でJR東海に対して関連会社との契約単価を上げるべきと主張してきています。

春闘で闘わない組合は存在意義が問われます。組合員が声を出し団結して声をあげていくことが重要です。私たちと共に声をあげましょう！

夢の国ディズニーの実態はブラック企業

私たち東海労は3月6日春闘セミナーを開催し、『なのはなユニオン』執行委員長の鴨桃代さんから講演を受けました。『なのはなユニオン』は、非正規労働者を主とした個人加盟の労働組合です。

講演では、労働者を人間扱いしない企業のひどい実態が明らかにされました。特に、あの「夢の国」ディズニーリゾートを経営するオリエンタルランドの実態はとんでもないものでした。

従業員2万人のうち正社員は2,000人だけ、あとの18,000人は非正規雇用のアルバイトや派遣社員なのです。華やかなショーに出演するパフォーマーの多くは、請負先の会社からの派遣労働者です。ショーの間合いもメイクを落とさず待機しているのに労働時間とされない。勤務シフトが明らかにされず、お客が少ないと勤務からはずされる。代わりの人を自分で探さないと年休が取れない。10年以上勤めていてもショーのリニューアルで解雇（契約打ち切り）など、ブラック企業そのものです。そして請負会社への委託とは表面だけ、実態は偽装請負なのです。それなのにオリエンタルランドは、雇用先は請負会社だとして団体交渉に応じません。

『なのはなユニオン』は、こうした企業と闘い、解雇撤回や契約社員の正社員化など多くの問題を解決してきました。

鴨さんは「金銭解決の額ではなく、相談者が闘う労働者が変わっていくこと」「一人のために多くの人が立ち上がりつながっていくこと」が喜びだと話されました。

私たちも『なのはなユニオン』の仲間たちと共に手をたずさえ賃金格差是正、賃上げ獲得、労働条件改善のために闘いましょう！

みなさんの声をよせてください！

私たちは今後も、大井基地で共に働く仲間の労働条件改善のためにJR東海会社、関連会社と交渉していきます。そのためにはみなさんからの声が重要になります。職場の問題点、労働・衛生環境などの意見を私たちにお伝えください。

みんなの声で賃上げ、より良い労働条件・職場環境を勝ち取ろう！

連絡先(新幹線地本)	〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-6-5 Tel.03-3201-0350
ホームページアドレス	http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html
メールアドレス	jrcushinkansen@yahoo.co.jp